

よりよく生きる

道徳の22の内容項目を紹介します！！partⅠ

道徳には、中学生が学ぶべき22の内容項目があります。この内容項目は、道徳のオリエンテーションの授業でも生徒に示し、それぞれがその中で大切にしていきたい内容を考えてもらいました。

今回は、A主として自分自身に関すること、B主として人との関わりに関することの内容を紹介いたします。

A 主として自分自身に関すること

1 自主、自律、自由と責任

自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。

2 節度、節制

望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする事。

3 向上心、個性の伸長

自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。

4 希望と勇気、克己と強い意志

より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。

5 真理の探究、創造

真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。

B 主として人との関わりに関すること

6 思いやり、感謝

思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。

7 礼儀

礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。

8 友情、信頼

友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。

9 相互理解、寛容

自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。

難しい内容ですが、人がよりよく生きるために必要な内容がたくさん詰まっていますので、全て紹介させていただきます。続きは、次の通信にて・・・。